



2階のパチスロフロアー。壁面に最先端塗料「ガイナ」が施工され、エアコンにはJCMシステムズのプラズマクラスターイオン発生ユニットを付加した

最先端塗料などで電力40%削減目指す 省エネのモデル店舗としてリニューアル

話題のホール

ファンダース高棚店

愛知県安城市

愛知県内で5店舗を運営するファミコーボレーシジョン(株)代表取締役・深谷倫光)の「ファンダース高棚店」が7月21日、リニューアルオープンを果たした。

今回のリニューアル最大の目的は、使用電力の従来比40%削減。これまでも同店では、「デマンドシステム」の導入をはじめ、様々な節電対策を施してきたが、全国的に高まる節電意識を背景に、さらに一歩進んだ省エネのモデル店舗として、生まれ変わった格好だ。

省エネのポイントになったのは、店内の壁面に塗り込んだ「ガイナ」と呼ばれるフロンヴィルテクノ社(名古屋市中区)が販売する特殊塗料。ロケットにも使用されているという技術を応用したセラミック製の断熱塗料によって、



